

空知北部地域における水質保全活動 (1)概要

- 活動組織:
 - ・深川市: 深川、一巳、音江、納内
 - ・滝川市・赤平市・旭川市など
- 活動内容:
 - ・水質保全活動計画の策定
 - ・水質モニタリングの実施・記録管理
 - ・広報: パンフレットによる広報
 - ・普及啓発: 研修会

空知北部地域における水質保全活動 (2)モニタリング

- 【目的】: 地域環境の指標である水質環境を知る
- 水質サンプリング・分析・評価・改善
- 【時期】
- 代掻き期: 濁水の現状を知り改善につなげる
 - 普通期: 普通期の現状を知る
 - 湯水期: 流水が少ないので、汚濁状況がわかりやすい
- 【場所】: 主な流域の上下流
- 汚濁負荷の対比が可能、改善につなげやすい

空知北部地域における水質保全活動 (3)取り組み状況



採水作業の様子

pHセンサーによる現場測定

水質モニタリング (1)環境の評価の視点1ー農業ー

- (農業用水)
- 農業用水としての基準を満足しているか

(農業排水)

 - 窒素・リンが過剰に流出していないか
 - 水田からの濁水が過剰に流出していないか
 - 畜産・堆肥盤からの流出がないか

水質モニタリング (2)環境の評価の視点2ー市街・生活ー

- 河川・湖沼
- 河川・湖沼はきれいで、汚濁物はないか
 - 親水空間として満足できるか
- 市街・工場の影響
- 市街地からの排水の流入はないか
 - 工場からの排水の流入はないか
- 上流からの影響
- 土砂が流出してくる場所はないか
 - 地域に影響を与える汚濁原因はないか

空知北部地域における水質環境

- 通常期の水質環境は概ね良好
- 代かき期の水質は、一部濁水が流出
これに伴い、窒素、リンの流出が認められた(水田地帯共通の傾向)
- 財団の継続調査結果から見ても、通常期は概ね環境基準を満たしている

水質環境をもっと身近に

【定性的な把握】(水環境健全性指標: 環境省により策定中)

- 自然なすがた
 - ～自然な状態の維持
- 豊かな生物
 - ～生物にとってすみやすいのか、生物がみられるか
- 水の利用可能性
 - ～この水はきれいなのか、どんな利用ができるのか
- 快適な水辺
 - ～どんな水辺だったら心地良しと感じるのか
- 地域とのつながり
 - ～わたしたちの暮らしと水辺はどれくらい関係があるのか

水質保全活動の基本的視点

- 下流へ地域の汚濁を流さない
- 自らの水質環境に日頃から関心を持つ
- できるところから、地域の皆で取り組む
(簡易水質試験キットの活用等)
- 継続的に取り組み、活動内容を向上させる
- 地域農業のブランド化に向け地域全体で取り組む

～安全な水と土壌が健康な農作物を育て私たちの生命と地域を守ります～



財団 北海道農業近代化技術研究センター

(旧名称: 北海道農業近代化コンサルタント)